



第61回JA掛川市通常総代会を開催

持続可能な農業の実現を目指して

第61回JA掛川市通常総代会が5月26日、掛川市生涯学習センターで開かれました。総代会には、総代494名のうち、404名（本人出席135名、書面決議269名）が出席。議事では、第61期事業報告及び剰余金処分案や第62期事業計画の設定など9議案が上程され、すべて原案通り可決承認されました。

なお、剰余金処分のうち出資配当金は年1%、信用・購買事業を対象とした利用高配当は約1,800万円です。

議長を務めた
松浦貞雄さん(東山)



決議事項

第1号議案

第61期(令和4年3月1日から令和5年2月28日まで)事業報告及び剰余金処分案承認について

第2号議案

定款及び定款附属書総代選挙規程の一部変更について

第3号議案

JA掛川市2か年計画～組合員とともに創造“農業と協同の未来”への設定について

第4号議案

第62期(令和5年3月1日から令和6年2月29日まで)事業計画の設定について

業計画の設定について

第5号議案

任期満了に伴う理事及び監事の選任について

第6号議案

退任理事に対する退職慰労金の支給について

第7号議案

退任監事に対する退職慰労金の支給について

第8号議案

理事の報酬の決定について

第9号議案

監事の報酬の決定について

附帯決議案

優良組合員表彰



角皆春久
上内田
茶、レタス



鈴木長司
和田岡
水稲、茶

農業、農村文化の振興に貢献し、成績優良な生産者を表彰します。

農業後継者表彰



鈴木裕
上内田
茶



萩田祐太郎
和田岡
水稲、イチゴ、メロン

農業の近代化を目指し、担い手となる優秀な後継者を表彰します。



厳しさ増す農業情勢 営農継続に向けた対応が課題に



＝自己資本比率＝

自己資本比率
17.08%

利益準備金や積立金等の内部留保に努めてきた結果、17.08%と早期是正措置の基準である4%を大きく上回っています。

3か年計画の3年目として、I地域の農業振興強化に取り組みます、IIJA事業で生産の拡大を後押しします、III農業振興を応援する組織を育成します、IV経営環境に対応した経営への転換を進めます、の基本方針のもと事業を進めました。

基幹作物の茶葉では、生産資材などの原料価格高騰により、情勢が一層厳しさを増す中、生産から販売まで一体化した生産指導および販売促進強化に努め、関係機関と連携して掛川茶のブランド力向上と振興に取り組みました。有機JAS規格茶生産拡大における生産指導を行い、付加価値の付いた茶の栽培と販路拡大に取り組みました。

さすが市では、来店客数および販売額ともに順調に増加しました。JA間連携により利用者ニーズを取り込んだ店舗運営に努めました。

第1号議案・第61期事業報告(抜粋)についてはこちらからご覧いただけます。



貸借対照表

令和5年2月28日現在 (単位:千円)

資産の部	金額
信用事業資産	115,423,286
(現金)	507,730
(預金)	73,215,359
(有価証券)	7,517,731
(貸出金)	33,557,511
共済事業資産	7,115
経済事業資産	981,463
(受取手形)	50,940
(経済事業未収金)	585,294
(棚卸資産)	375,432
(貸倒引当金)	-48,114
雑資産	452,741
固定資産	4,240,324
外部出資	5,103,788
資産の部合計	126,258,708

負債及び純資産の部	金額
信用事業負債	116,017,186
(貯金)	115,028,680
(借入金)	105,116
共済事業負債	344,688
経済事業負債	302,965
(経済事業未払金)	302,939
雑負債	648,804
諸引当金	856,822
負債の部合計	118,170,467
出資金	790,525
利益剰余金	7,862,997
(うち当期剰余金)	22,703
その他有価証券評価差額金	-562,932
純資産の部合計	8,088,240
負債及び純資産の部合計	126,258,708

損益計算書

令和4年3月1日～令和5年2月28日 (単位:千円)

事業総利益	金額
(信用事業総利益)	736,218
(共済事業総利益)	545,501
(購買事業総利益)	426,184
(販売事業総利益)	164,103
(加工事業総利益)	146,324
(利用事業総利益)	29,264
(その他事業総利益)	11,364
(指導事業収支差額)	-30,073
事業管理費	1,965,428
(人件費)	1,393,435
事業利益	63,458
事業外収益	135,694
事業外費用	24,706
経常利益	174,446
特別利益	70,165
特別損失	180,655
税引前当期利益	63,957
法人税等合計	41,253
当期剰余金	22,703
当期首繰越剰余金	175,231
当期末処分剰余金	197,935

剰余金処分

(単位:円)

金 額	
当期末処分剰余金	197,935,737
剰余金処分額	53,544,019
（利益準備金）	20,988,000
（任意積立金）	6,000,000
（出資配当金）	7,748,192
（利用高配当金）	18,807,827
次期繰越剰余金	144,391,718



第5号議案で「任期満了に伴う理事及び監事の選任」が行われ、投票によって新役員が承認されました。総代会終了後に理事会・監事会が開かれ、互選により代表理事組合長に榛葉稔（西山口）、代表理事専務に大場秀明（和田岡）、常務理事に川隅弥寿吉（学識経験）、常勤監事に小柳津徹（学識経験）が選出されました。

任期は3年で、令和8年5月に予定する通常総代会終了までとなります。

役員改選

新体制でスタート

自己改革と 基盤強化を進める

この度の役員改選により、代表理事組合長という大役をお引き受けることとなり、責務の重大さに身の引き締まる思いであります。

社会環境、社会情勢が目まぐるしく変化する中、農業・農協を取り巻く環境も厳しさを増しています。新2か年計画「組合員とともに創造、農業と協同の未来」を策定し、①持続可能な農業の実現に向けた生産基盤強化、②JA運営の好循環に向けた

組織基盤強化、③「不断の自己改革」の実践を支える経営基盤の確立、強化の3つの重点項目を柱に自己改革と各基盤強化を進めてまいります。

組合員、利用者の皆様とともに、経営理念である未来につながる元氣な農業、豊かな地域づくりを目指し、役員が丸となって努力してまいりますので、皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。



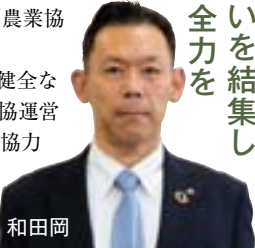
代表理事組合長
榛葉 稔
西山口

組合員の思いを結集し
農協運営に全力を
尽くす

この度の役員改選において、代表理事専務をお受けすることになり、責任の重さに身が引き締まる思いであります。

現在農業を取り巻く社会情勢・社会環境は非常に厳しく、持続可能な農業の在り方が問われています。農協が協同の力を発揮し、農家組合員の安定した農業経営実現のため必要な存在となるには、組合員・役職員の「農業協同組合」への深い理解が必要不可欠です。

組合員の組織である掛川市農協に組合員の健全な想いを結集し、最大限の力が発揮できるよう農協運営に全力を尽くす所存でありますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。



代表理事専務 **大場秀明** 和田岡

身近に感じ、より良い
農協になる
ように

この度の役員改選により、学識経験理事として選任いただき、常務理事という重責をお引き受けすることになりました。責務の重大さに、身の引き締まる思いであります。

農業、農協を取り巻く環境が厳しさを増す中ではありますが、常に組合員の視点に立ち、農協の基本理念に基づいて、組合員の所得向上・地域農業の活性化に努めるとともに、農協の健全経営を目指します。

組合員や利用者にとって身近に感じ、より良い農協になるよう役職員一丸となって取り組んでまいりますので、皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。

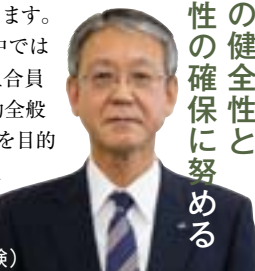


常務理事 **川隅弥寿吉** 全区域
(学識経験)

経営の健全性と
透明性の確保に努める

この度の役員改選により、再度学識経験監事に選任いただき、常勤監事の重責をお引き受けすることになりました。責任の重大さに、身の引き締まる思いであります。

農業・農協を取り巻く環境が厳しさを増す中ではありますが、組合の健全な発展を図るため、組合員の立場に立ち、理事の職務執行を含む業務活動全般について、その適法性・妥当性を確認することを目的として監査を行い、組合経営の健全性と透明性の確保に努めてまいります。



常勤監事 **小柳津徹** 全区域
(学識経験)

理事・経済委員
田辺喜四郎
倉真

理事・茶業副委員長
堀井一郎
西郷

理事・金融共済副委員長
杉山喜康
原泉

理事・茶業委員長
杉山 保
栗本

監 事
柴田正信
北部地区

理事・茶業委員長
渡辺孝義
東山

理事・金融共済委員
松永行由
日坂

理事・金融共済委員
今駒芳治
東山口

監 事
鷺山喜久
東部地区

役員改選

理事・監事の紹介

理事・茶業委員
平尾有広
原田

理事・金融共済委員長
鈴木浩司
原谷

理事・経済副委員長
鈴木崇仁
曾我

理事・金融共済委員
村上久雄
西南郷

理事・経済委員
山本浩二
掛川

理事・茶業委員
山崎育司
桜木

監 事
山崎敏康
西部地区

理事・経済委員長
石川和史
上内田

代表監事
石川哲司
南部地区

退任される理事・監事の皆様
長い間、ありがとうございました。

代表理事組合長	松永大吾様	(日 坂)
代表理事専務	塩澤勝義様	(原 田)
理 事	山崎 耕一様	(東山口)
理 事	横井 隆一様	(西山口)
理 事	松浦 久夫様	(倉 真)
理 事	松浦 文男様	(西 郷)
理 事	中根 保 様	(栗 本)
理 事	堀内 敏夫様	(桜 木)
理 事	大塚美恵子様	(全区域)
理 事	鈴木 深雪様	(全区域)
理 事	守屋 篤 様	(全区域)
監 事	戸塚 博 様	(西 部)

理事・茶業委員
波多野初枝
女性枠

理事・経済委員
堀内正子
女性枠

理事・経済委員
松浦永治
青年枠

監 事
鴨川 登
員外監事

これまでの取り組みを前進させ、 環境に対応した事業を展開する

組織活動・組合員支援

生産拡大を担う担い手の育成と農地集積により、効率的な経営を進めます。組合員や地域住民との絆を深め、地域の特色を生かした農業振興に取り組みます。

茶

茶市場	前年度実績	1、524、131千円
	本年度計画	1、600、000千円
緑茶加工	前年度実績	558、925千円
	本年度計画	600、000千円

良質茶の生産から販売までの一体化した生産指導および販売により、農業所得向上に努めます。

各関係機関との連携を強化し、掛川茶のブランド力向上と掛川茶振興に努めます。

営農・販売

一般	前年度実績	963,754千円
	本年度計画	900,000千円
畜産	前年度実績	490,953千円
	本年度計画	470,000千円
ささが市	前年度実績	811,540千円
	本年度計画	820,000千円

農業所得向上のため、生産組織と一体となり、新たな販路拡大に向けた販売機能の強化や産地力の向上に取り組みます。

組合員の期待に応える営農指導の強化に向け、職員の資質向上を目指し、効果的な営農相談体制を構築します。

購買

生産資材	前年度実績	1、852、317千円
	本年度計画	1、635、000千円
生活資材	前年度実績	744、033千円
	本年度計画	735、000千円

信用

貯金	前年度実績	115,028,680千円
	本年度計画	115,700,000千円
貸出金	前年度実績	33,557,511千円
	本年度計画	34,600,000千円

「組合員応援・ささがを満載！」を掲げ、JAの持つ金融仲介機能を最大限に発揮し、組合員・利用者のニーズに合った事業・サービスの提供により、持続可能で活力の

共済

前年度実績	7,758,851ポイント
本年度計画	8,000,000ポイント

「組合員・利用者一人ひとりに寄り添った安心と満足の提供」を基本方針とし、組合員・利用者、ライフスタイルの変化やニーズにあった保障とサービスの提供を心掛けていきます。

また、契約者フォロー活動に積極的に取り組むとともに、地域に密着した事業を推進することにより、「安心」と「信頼」で地域をつなぐJA共済を目指していきます。

総務

業務運営体制の見直しや組合員・利用者の相談に対応できる人材育成を進めます。また、持続可能な経営基盤の確立・強化と

監査

不祥事未然防止の強化と「リスク管理の3線防御体制」の構築を図るため、内部監

査の継続的実施によりコンプライアンス態勢とリスク管理態勢の充実・向上に努めます。

法令・定款・その他諸規程に基づき適正に遂行されているかを検証し、会計監査人

監査および監事監査との適切な連携、積極的な情報交換を行い、効率的で有効な監査を実施するよう努めます。

JA掛川市 2 か年計画

～組合員とともに創造“農業と協同の未来”～

令和5年度
令和6年度

経営理念

JA掛川市は組合員とともに、協同組合運動の強化に取り組み、協同の力のもと、安心と信頼ある事業や活動を展開し、未来につながる元気な農業、豊かな地域づくりを目指します。

基本目標

環境変化への対応、組合員との関係強化に向けて、「生産基盤」「経営基盤」「組織基盤」の3つの観点で重点取組を定め、農業の生産拡大、持続可能な社会実現に貢献します。

持続可能な農業の実現に向けた生産基盤強化

- 1 産地の維持・拡大に向けて農業振興を強化します
- 2 農家組合員の農業経営を後押しします

JA運営の好循環に向けた組織基盤強化

- 3 組合員との関係強化と人づくりに取り組みます

「不断の自己改革」の
実践を支える経営基盤の
確立・強化

- 4 新時代に対応した総合事業改革を行います
- 5 持続可能な経営基盤を確立強化します

農協が果たすべき役割

JA掛川市 不断の自己改革 Report

平成28年度より、組合員との対話に基づいて、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする創造的自己改革の実践に全力で取り組んできました。令和4年度からは、農業者の所得増大に取り組むほか、経営基盤強化や組合員との対話・意思反映をすすめ、さらなる進化を目指します。

農業者の所得拡大・農業生産の拡大



重点目標

有機JAS規格茶の新規取り組み面積の拡大

令和4年度実績

376.8a
(目標対比125%)

付加価値をつけた茶の栽培や製造をすすめ、販売単価の向上につなげています。

令和5年度目標

800a



重点目標

ささが市取扱高の拡大

令和4年度実績

7億283万円
(目標対比105%)

出荷者数の増加や出荷品目の拡大に努め、豊富な地元農産物の販売に取り組んでいます。出荷登録者への野菜苗・種子を供給し、推進作物の生産拡大を行っています。

令和5年度目標

7億4,000万円



重点目標

主力品目イチゴの取扱高の拡大

令和4年度実績

5億2,802万円
(目標対比121%)

新規就農者の受入、独立支援を行い、生産者数の増加に取り組んでいます。

令和5年度目標

4億5,000万円